

栄養やまなし No. 99

公益社団法人山梨県栄養士会 〒400-0805 甲府市酒折一丁目 1-11 ☎055-222-8593 平成26年4月

行事予定

公益社団法人山梨県栄養士会第30回定時総会	5月24日(土)	ぴゅあ総合
歯と口の健康週間	6月	各保健所管内支部
生涯教育研修会	5月31日(土)・6月21日(土)・7月26日(土) 9月6日(土)・10月4日(土)・11月8日(土) 12月6日(土)・H27年2月21日(土)	ぴゅあ総合
公益社団法人日本栄養士会定時総会	6月22日(日)・23日(月)	
指導者のための健康・栄養セミナー	7月	
特定保健指導従事者スキルアップ研修会	8月	
メタボリックシンドローム予防のための健康セミナー	開催日時未定	
栄養管理研修会(県と共催)	開催日時未定	
全国栄養改善学会	8月20日(水)～22日(金)	横浜市
第6回全国栄養士大会・平成22年度全国栄養改善大会	8月23日(土)	横浜市
関東甲信越地区各県栄養行政担当者と各県栄養士会長および 連盟支部長との合同会議	8月28日(木)・29日(金)	長野県
いきいき山梨ねりんピック2014への協力	9月	
山梨県民歯科保健のつどい	10月	
県民の日記念行事への協力	11月	
管理栄養士・栄養士新任者研修会及び栄養業務研究発表会	2月	

定時総会特集

2014年5月



目

次

生涯教育研修会の概要……………	2	第3号議案……………	23
告示 第30回(平成26年度)定時総会通知…	4	平成26年度事業計画(案)及び	
第1号議案……………	5	収入支出予算(案)承認の件	
平成25年度事業実施報告及び		賛助会員名簿(54社)……………	25
収入支出計算書並びに財産目録承認の件		会員の皆様にお願い!……………	27
第2号議案……………	22	事務局からのご案内……………	28
役員改選			

山梨県栄養士会では「生涯教育制度」がスタートします

～すべての管理栄養士・栄養士が、国民のために役立てる能力を身につけます～

公益社団法人 山梨県栄養士会 会長 田草川 憲男

社会の進歩にあわせた専門知識・技術の維持向上は、専門職として重要な役割です。これを支援するために生涯（継続）職能開発（CPD）の考えを取り入れた生涯教育制度がスタートします。

私たちの栄養士活動がこれからますます、専門職として社会の中で認められるには、専門職としての知識や技術だけでなく、科学的なエビデンスに基づいた専門性の確立と自己規制基準として職業倫理の確立が必要になってきます。

そこで、従来から行ってきた生涯学習から、キャリア形成を支援できる生涯教育制度とするために、生涯職能開発へと移行します。

1 制度変更の目的

研修の目的は、「単位」や「認定」の取得にあるのではなく、管理栄養士・栄養士として国民のために役立てる能力を身につけることです。

生涯教育では、自身の評価を行い、到達目標を決定して、研修計画（P）を作成し、実践（D）、評価（C）、改善・見直し（A）を繰り返すことによりスキルの向上を目指します。

このPDCAサイクルで研鑽を積み「知識・技術・論理の面で信頼できる専門職」であるとの社会的評価を得ることが重要となります。

2 生涯教育制度構築のポイント

（1）生涯職能開発（CPD）

各職域の初任者（3年）、中堅の実務者（5～10年）、管理者（15年）の到達目標を明確にして、専門知識の継続的な自己研鑽を目指す生涯職能開発（CPD）への移行を図ります。

（2）自己研鑽

自己研鑽は、生涯教育での研修や実務でのトレーニングを重視し、PDCAサイクルで実践します。

（3）生涯教育の構成

生涯教育は、「栄養の指導」の専門職として各領域で必須とされるスキルを習得する「基幹教育」と、その専門とする分野ごとにさらに専門性を高める「拡充教育」があります。

3 基幹教育

基幹教育は、専門知識・技術の修得と実践力をつけ、対象者の状況にかかわらず一人ひとりに応じた適切な「栄養の指導」が出来ることを目指し、「基本研修」と「実務研修」に分けました。

1）基本研修（原則 県栄養士会で実施する研修会）

栄養士・管理栄養士としてミニマムスタンダード（基本的なもの）として次の4項目を身につけます。それを実現するための「基本研修」を本年度からスタートいたします。

その到達すべき（身につけるべき）4項目とは、

- ①専門職としての職業倫理をベースにした態度や行動をとる。
- ②栄養士や管理栄養士が行う「栄養の指導」の本質とその実践形態を理解し、説明できる。
- ③栄養ケア・プロセス（栄養アセスメント、栄養診断、栄養介入、栄養モニタリングと評価）の基本を理解し、活用できる。
- ④行動変容の理解と実践について習熟している。です。

これらの到達点に自分が達しているかどうかを検証してみてください。

新しい制度では、これらの到達度を確かめながら計画的に研修を進めることが出来るように、全

国共通のテキストが作成されます。

2）実務研修（各職域、県栄養士会あるいは支部単位で実施する研修会）

実務研修では、専門とする分野に特化される高度で、詳細な知識や技術を習得します。その知識・技術を生かして職場で実践して、各職域で「単独で実践できる」熟練したスキルへと自己研鑽してください。

生涯教育制度では専門分野ごと（臨床栄養、福祉（高齢者・障がい者、児童）栄養、公衆栄養、学校栄養、健康・スポーツ栄養、給食管理、地域栄養等の専門領域）に必要なスキルとその到達目標を決めて計画される「実務研修」と合わせて受講していただくことになります。

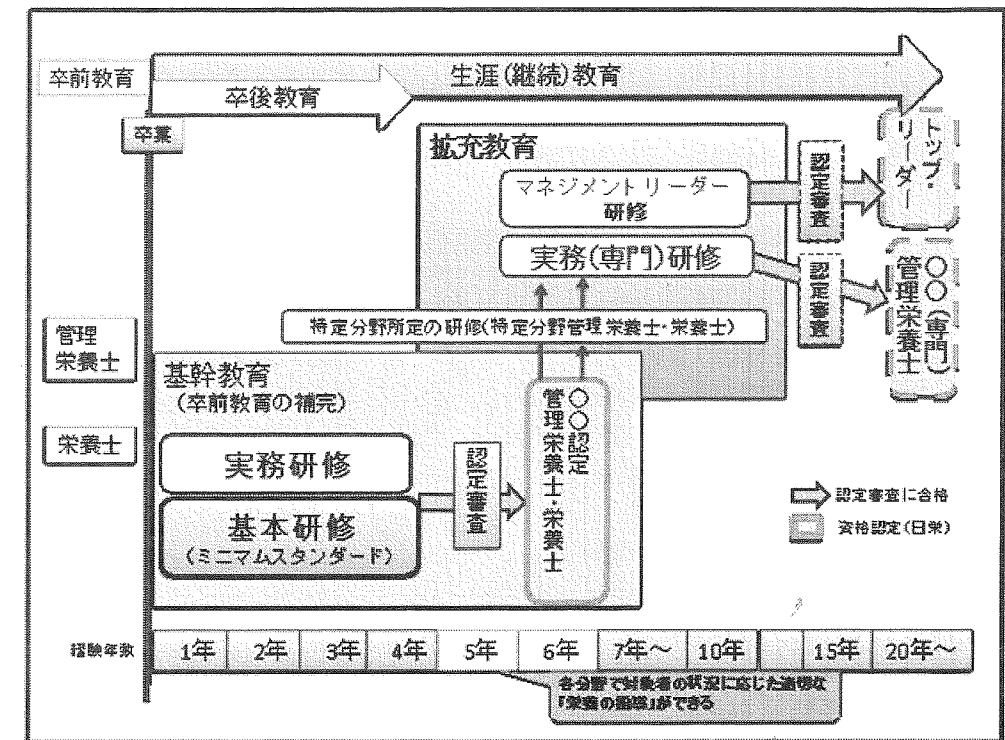


図1 生涯教育のイメージ

4 認定制度

生涯教育の単位制度を基本に、キャリア形成を支援するためスキルの到達度に応じた認定制度が組み入れられます。

これらの資格には、認定期間を設け、スキルの向上と質のため更新制度が取り入れられます。

認定管理栄養士・認定栄養士は、臨床栄養、学校栄養、健康・スポーツ栄養、給食管理、公衆栄養、地域栄養、福祉（高齢・障害・児童）栄養等の専門領域において、熟練した栄養に関する技術と知識を用いて、「栄養の指導」について責任を持って実践できるレベルに到達したことを認めるもので、所属施設の運営や他部門との連携に積極的に関与し、他者にモデルを示すことができるものとします。

自己研鑽して、所定の単位や実績があれば認定試験を受験することが出来ます。

この、認定者の到達レベルは、

- ①熟練した栄養に関する技術と知識を用いて、「栄養の指導」について責任を持って実践できる。
 - ②チームのリーダーとして指導的役割を果たし、適切に組織運営でき、所属施設の運営や他部門との連携に積極的に関与し、他者にモデルを示すことが出来る。
- の2点を掲げており、当該分野におけるジェネラリスト（広範な分野の知識・技術・経験をもつ人）としての評価を与えることになります。

まずは、受講申込みをしましょう！それから、みんなで助け合いながらスキルアップしましょう。

平成 26 年 4 月 26 日

第 30 回（平成 26 年度）定時総会並びに 研修会の開催について（通知）

正会員 各位

公益社団法人山梨県栄養士会会長 田草川 憲男

謹啓 会員の皆様方には益々ご清祥のこととお慶び申し上げます。平素は本会の活動にご協力をいただきありがとうございます。

さて、次により平成 26 年度定時総会を定款第 12 条の規定に基づき開催いたしますので、ご出席くださいますようご案内申し上げます。

日 時 平成 26 年 5 月 24 日（土）10：30～15：30（9：30～連盟総会を開催）

会 場 山梨県立男女参画推進センター ビュー総合

（甲府市朝気 1-2-22 電話 055-235-4171）

出席者 公益社団法人山梨県栄養士会 正会員

日 程

10：30～11：00 賛助会員商品紹介

11：00～12：00 賛助会員商品展示見学等

12：00～13：00 昼食

13：00～14：00 公益社団法人山梨県栄養士会定時総会

14：00～15：30 研修会

『新しい「生涯教育制度」って何？

～あなたの管理栄養士・栄養士像の未来を真剣にデザインします』

講師：山梨学院短期大学 食物栄養科

教授 中川 裕子 先生

第 30 回定時総会次第（13：00～14：00）

会長あいさつ

来賓祝辞

議 事

第 1 号議案 平成 25 年度事業実施報告及び収入支出計算書並びに財産目録承認の件

第 2 号議案 役員改選

第 3 号議案 平成 26 年度事業計画（案）及び収入支出予算（案）承認の件

第 4 号議案 その他

注意：総会出席者は次のことにご留意下さい。

1 総会に出席の正会員は「栄養やまなし」No.99（この総会特集号）をご持参下さい。
当日、総会資料は配付いたしませんので忘れないようにお願いします。

2 総会資料をご覧の上、質問、意見、要望等のある正会員は、別紙「平成 26 年度定時総会発言申告書」用紙に記入して、
5 月 16 日（金）までに栄養士会事務局まで提出して下さい。

3 総会出席正会員は 12 時 45 分までに受付を済ませ、総会会場に入場して下さい。

※ 総会に出席出来ない正会員は、開催時間までに同封の委任状を必ず提出して下さい。

（委任状の提出は法律で決められた正会員の義務です。忘れずに義務の履行をお願いします。）

不明の点は、事務局にお尋ね下さい。（055-222-8593）

第 1 号議案

平成 25 年度 事業実施報告

特定健診・特定保健指導の導入から 5 年が過ぎ、一次予防の成果が少しずつ明確になってきた。徐々にではあるが、確実にその重要性が認識されてきた感がある。特定保健指導の実施者は医師・管理栄養士・保健師であり、管理栄養士の果たす役割はますます大きくなると考えられる中、本会ではその実施者として着実に成果を上げてきた。

メタボリックシンドローム、糖尿病、高血圧、脂質異常症、慢性腎臓病など生活習慣病の有病者に対する重症化予防の取組は、生活習慣の中でも特に食生活の影響は重大であることから、診療所における管理栄養士による食事指導の必要性について医師会・各医院に対してご理解をいただく努力を行い、一定の成果を上げつつある。

高齢者の在宅医療・介護に対する必要性が高まる中、他職種連携のための山梨県及び中北保健所の検討会の設置に伴い、医療事業部で「栄養サマリー」の検討を行う中、それぞれ委員として参加し、在宅及び施設等における食生活等支援者の生活等実態把握のためのマニュアル作成等に協力した。

東日本大震災を教訓に、「非常災害時に被災者の健康支援を担う管理栄養士等の（JDA-DAT）の育成事業」（日本栄養士会主催）におけるリーダー育成研修会が仙台市で開催され、公衆衛生及び福祉事業部から会員 3 名が受講した。これで、本県では災害時の被災者支援のノウハウや技能を持つ管理栄養士・栄養士が昨年と合わせて 6 人となった。

山梨県における低出生体重児が他の都道府県よりも多く、将来における生活習慣病の発症リスクが高いことや他への影響があることから、公衆衛生事業部を中心に検討が重ねられ、医師等他職種を交えた研修会や公衆衛生学会での発表を行ったところである。

管理栄養士・栄養士は、人々の健康の維持・増進及び生活の質の向上を目指し、科学的根拠に基づき、栄養と食に関する支援を行う専門職である。管理栄養士・栄養士は、栄養と食の専門職として、自らの職業の必要性・有用性を、自ら証明しなければならないとの観点から、研究論理を遵守した基礎研究・実践研究に基づく科学的根拠を示さなければならない。そこで、日本栄養士会で検討されている、「生涯教育研修会」を具体的に進めるために、「生涯学習委員会」を開催し、平成 26 年度からの開催に向けて準備を重ね、開催に運び

となった。

県民の健康づくりを一層進めるためには、全市町村に行政栄養士の配置が必要との考えから、毎年未配置市町村に出向き市町村長さんをお願いしていたところ、その成果もあり新たに 2 町村で平成 26 年度から行政栄養士が採用されることになった。

また、関係団体が開催する各種事業に協賛し、健康づくり、栄養・食生活改善の専門職として、生活習慣病予防や食事バランスガイドの普及など「健やか山梨 21（第 2 次）」の県民への定着に努力した。

1. 社会活動の展開

1) 栄養ケア・ステーション事業

平成 17 年度に開設した栄養ケア・ステーションにおいて、県委託事業や特定保健事業及び医院や診療所での保健指導の実施など県民の健康づくり事業を実施した。

(1) 山梨県委託事業の「栄養なんでも相談事業」

①「出前栄養相談」として小規模事業所の従事者及び児童館を利用する母子を対象として、生活習慣病予防及び食育の推進に努め、県民から信頼され親しまれる取り組みを行なった。

児童館・児童センターでは、27 会場で開催し、地域活動事業部の会員延べ 54 名が講師としてエプロンシアター等による食育講習会を行った。

②栄養・食生活情報編集委員（10 名）による検討委員会において作成した「栄養・食生活情報」を県内 28 市町村及び食生活改善推進員会等に送付し、「市町村広報紙」や「食生活改善推進員だより」等への掲載を通して、広く県民に健康づくりのための食生活の知識の提供を行った。

(2) 甲府市主催「まちなか健やかサロン」における食育活動

「まちなか健やかサロン」（岡島デパート 6 階）の参加者を対象に、毎月 1 回計 12 回、地域活動事業部会員による栄養相談を実施した。

(3) 「いきいき山梨ねんりんピック 2013」における健康づくり活動

9 月 28 日（土）小瀬スポーツ公園にお

いて開催され、「福祉・保健情報コーナー」において、「健やか山梨 21」推進協力団体として、食育のパネル展示や「そのまんま料理カード」によるパソコン栄養診断と栄養相談などを行った。

- (4)「健やか山梨 21 (第 2 次)」の推進
健やか山梨 21 推進会議メンバーとして「健やか山梨 21 (第 2 次)」の推進を図るため、会員の職域において、県民への普及啓発等に努めた。
- (5)「県民の日記念行事」における健康づくり活動
11 月 16 日 (土)・17 日 (日) 小瀬スポーツ公園で開催され、「健やか山梨 21 (第 2 次)」で推進している「野菜 1 日 350g 以上の摂取」「食事バランスガイド」「生活習慣病予防」など望ましい食生活の普及啓発を行った。
- (6)「歯と口の健康週間」における健康づくり活動
歯科医師会主催で 6 月の歯と口の衛生週間事業の一環として実施し、本会は保健所単位支部が中心となって、県内 7 会場 (県立図書館、田富オギノリバーサイド、韮崎市民交流センター、市川三郷町民会館、イオン石和店、いちやま塩山店、富士急ターミナルビル) で、バランスのとれた食生活に関する情報提供や偏食等に関する相談など食育相談にも対応した。
- (7) 第 30 回「山梨県民歯科保健のつどい」に共催団体として参加協力
10 月 27 日 (日) アイメッセにおいて開催した。本会は食育コーナーを設置して、「そのまんま料理カード」によるパソコン栄養診断と栄養相談・栄養指導を実施した。またミニ食育講演会として、「早寝早起き朝ごはん」と題したエプロンシアターを実施し、食の大切さをアピールした。
- (8)「強化精麦普及啓発運動」の実施
山梨県精麦工業協同組合の協賛を得て県下一円に強化精麦普及啓発活動を行い、食生活で不足しがちなカルシウム・ビタミン B 1・食物繊維等の摂取促進を積極的にすすめ、生活習慣病予防の啓発に努めた。
- (9) 各支部・各職域事業部において、管理栄養士・栄養士を対象とした研修会や各種イベントを通して、県民に栄養・食生活についての情報提供に努めた。
- (10) ホームページによる健康・食に関する情報の提供

- 本会のホームページの「栄養なんでも相談」、「栄養一口メモ」、「おすすめ献立集」、「山梨の郷土食」、「食事バランスガイド」などの普及・啓発コーナー欄の充実に努めるため、健康づくり、栄養・食生活に役立つ情報について、定期的に更新し、県民及び管理栄養士・栄養士に役立つ情報提供に努めた。
- (11) 他団体等の事業に協力
県立介護実習普及センター、山梨市成人大学、山梨県職員共済組合、中央建設国保連合会、山梨県食生活改善推進員協議会など、各団体からの講師派遣依頼に対し、会員の中から講師を紹介し、関係団体などの開催する健康づくり事業に協力した。
- 2) 行政管理栄養士等未設置市町村に対する設置要望活動
県民の効果的な健康づくりや栄養改善事業を積極的に推進していくためには、市町村に専門知識や技術を有する管理栄養士・栄養士が必要であることから、管理栄養士等未設置市町村に対して、設置要望活動を日本栄養士連盟山梨県支部及び該当市町村食生活改善推進員会と連携して実施し、その成果もあり新たに 2 町村で平成 26 年度から行政栄養士が採用されることになった。
- II. 管理栄養士・栄養士の資質の向上
- 1) 総会の開催：5 月 26 日 (日)
会場：ぴゅあ総合 参加者 112 名
「賛助会員による栄養関係最新情報の提供」
発表賛助会員：信濃化学工業 (株)、(株) H + B ライフサイエンス東京支店、(株) クリニコ、(株) 明治関東支社、旭化成ファーマ (株)、ネスレ日本 (株) ネスレヘルスサイエンスカンパニー、(株) 岩崎松本営業所、(株) コーゲツ、(株) ファンデリー、(株) はくばく、長谷川化学工業 (株)、テルモ (株)、東洋羽毛 (株) 西東京営業所、(株) 宮源
- 2) セミナー「牛乳を科学する」講演会：8 月 10 日 (土) 会場：ぴゅあ総合 参加者 183 名
テーマ：「牛乳の機能や価値、また、牛乳を嫌いになる理由なども含め、牛乳についての正しい理解と、日々の疑問や問題点を専門家と検討する。」
- 3) 「児童福祉施設におけるクッキング講座」
11 月 9 日 (土) 勝沼市民会館
11 月 16 日 (土) 玉穂総合会館
テーマ：スキムミルクを上手に給食に取り入れ、子どもたちの健康づくり役立てるとともに

- に、「食育の計画づくり」と「食育の推進」「栄養管理」などの知識・技術の向上を目指す。
- 4) 県栄養管理研修会 山梨県と共催
11 月 9 日 (土) 会場：ぴゅあ総合
テーマ：「食事摂取基準の活用方法」～栄養管理に食事摂取基準をどう生かすか～
講師 山梨学院大学健康栄養学部 教授 林 静子
- 5) JDA-DAT (日本栄養士会災害支援栄養チーム) リーダー育成研修会 会場：宮城県公衆衛生事業部、福祉事業部から 3 名参加
- 6) 特定保健指導従事者のための研修会
特定保健指導の効果的な支援を行うためのスキルアップ研修会を実施した。

- 9 月 15 日 (日)
会場：ぴゅあ総合 参加者 20 名
- 7) 生涯学習研修会の開催
管理栄養士・栄養士の資質の向上のために平成 11 年度から開催しており、平成 15 年度からの新生涯学習制度も「生涯学習委員会」の努力によって内容の充実が図られながら毎年開催し、今年度 10 年目となり 5 年間で必要単位を受講完了している修了者にとっては、新しい生涯学習記録票の更新となった。
今年度は、6 回 14 テーマの研修会を実施した。実受講者は 75 名であった。

実施内容

期 日	科 目	講 師	会 場
5 月 26 日 (日)	生涯学習ガイダンス	会長 田草川 憲男	ぴゅあ総合
	栄養で予防するサルコペニア～最新の臨床栄養トピックス～	沖縄リハビリテーションセンター病院 医師 吉田貞夫	
6 月 22 日 (土)	健やか山梨 21 第 2 次計画について	山梨県福祉保健部健康増進課 課長 堀岡伸彦	
	メタボとロコモの予防改善のための運動について	日本健康スポーツ連盟 主任研究員 依田武雄	
	在宅支援の連携	和歯科クリニック 院長 渡辺和俊	
7 月 27 日 (土)	食事と姿勢～首を意図的に制御出来なかったらどうなるだろうか～	甲府南ライフケアセンター 理学療法士 井口恭一	
	栄養士会事業の災害支援に対し我が県栄養士会の今後の為に	日本栄養士会理事 栄養ケア・ステーション事業部長 下浦佳之	
	低体重出生児のその後の影響	早稲田大学 教授 福岡秀典	
9 月 7 日 (土)	「日本ウエルネス事情と栄養士の役割」ヘルスプロモーションを一部活動ととらえて	日本ウエルネス学会理事長 同志社女子大学名誉教授 野崎康明	
	CKD の概念	山梨赤十字病院 腎臓内科部長 加藤謙一	
	業務に役立てよう～統計学の基礎知識～	山梨県立大学大学院 看護学研究科 教授 小田切陽一	
12 月 7 日 (土)	最新精神栄養学～うつを食事で改善する～	国立精神・神経医療研究センター 神経研究所 疾病研究第三部 部長 功刀 浩	
	消費者の食品選択のために必要なこと～TPP で増す不安～	NPO 法人コミュニティスクール・まちデザイン 理事長 近藤恵津子	
	個別指導に必要な知識とスキル 教育相談におけるカウンセリングを参考にして	山梨大学大学院教育学研究科 准教授 酒井 厚	
2 月 22 日 (土)	疾病と減塩の必要性	(独) 国立病院機構甲府病院 内科系診療部長 渡邊吉康	
	シンポジウム (トピックスⅦ) 各職域における減塩の取組み	座長：山梨学院短期大学 教授 岡本裕子 シンポジスト：学校・公衆衛生・研究教育・勤労者支援・地域活動・医療・福祉	

- 8) 第 23 回栄養業務研究発表会

栄養業務に携わる管理栄養士・栄養士が一堂に会し、各職域の業務の研究成果を発表し、栄養学の進歩と活用を図ることにより、管理栄養士・栄養士の技術及び知識の向上を図り、
- 県民の栄養改善・健康づくりに寄与することを目的に開催した。

平成 26 年 3 月 1 日 (土)

会場：山梨学院短期大学 参加者 100 名

☆研究発表の内容

演 題	勤 務 先	発 表 者	職 域
継続した食育推進を目指して	上野原市立上野原小学校	大神田志保	学校健康教育
中北地域・職域保健連携推進協議会での働き盛り世代への働きかけ	中北保健福祉事務所	山下ますみ	公衆衛生
調理技術試験が短期大学生に及ぼす影響	山梨学院短期大学	樋口 千鶴	研究教育
刑事施設における管理栄養士の業務	甲府刑務所	深山 俊彦	勤労者支援
児童館出前栄養相談事業の取組み		芦沢 恵介	地域活動
市民のそら豆はどうなるのか・・・？	市立甲府病院	齊藤 寛子	医療
アルギニン配合栄養補助食品による褥瘡治療への新たなアプローチ	甲府城南病院	保坂 麻衣	医療
簡易栄養状態評価表 (MNA) を使用しての栄養管理	ショートステイ コスモ・アルポーレ	内藤 尚子	福祉

- 9) 新任者研修会

平成 26 年 3 月 1 日 (土)

会場：山梨学院短期大学 参加者 40 名

各職域事業部より栄養業務を実施するにあたって備えておくべき知識等について事例を交えて紹介
- 10) 次世代の健康を考える研修会「低出生体重児のその後の影響」

11 月 1 日 (金)

会場：ぴゅあ総合 参加者 95 名 (公衆衛生事業部担当)
- 11) 各種表彰受賞者

厚生労働大臣表彰 養成施設功労者 根津 美智子 (研究教育)

厚生労働大臣表彰 栄養指導功労者 宮川 善美 (公衆衛生)

知事表彰 栄養改善功労者 藤井 まさ子 (研究教育)

知事表彰 栄養改善功労者 有泉 正子 (医療)

知事表彰 栄養改善功労者 小倉 紀美子 (福祉)

知事表彰 栄養改善功労者 堀内 美香子 (公衆衛生)
- 12) ホームページによる情報提供

県民への健康づくりや郷土料理などの情報提供のほか、研修会の案内や各種事業の開催などの情報提供を行った。

URL <http://www.eiyouyamanashi.jp/>:

13) 会報の発行および健康増進のしおり・健康日本 21 リーフレットの配布

・会報「栄養やまなし」第 97 号、第 98 号を発行し配布した。

・日本栄養士会発行の「健康増進のしおり」(2013-1・2013-2・2013-3)「健康日本 21 リーフレット」の配布
- Ⅲ. 組織強化
- 1) 公益法人としてその活動基盤の充実のためには、まず会員数の確保が重要である。県内の栄養士養成校に新卒者の栄養士会入会奨励を依頼した。また継続会員の確保を図るため、各職域の協力を得るように努めた。

2) 本年度の会員数は、520 名であった。新入会員 65 名、継続会員 455 名、退会会員 96 名で、前年度より 41 名減少した。
- 支部・職域別正会員内訳 (H26.3 現在)
- | 職域名 | 学 校
健康教育 | 研究教育 | 公衆衛生 | 地域活動 | 勤労者
支 援 | 医療 | 福 祉 (合計 165) | | | 計 |
|-------|-------------|------|------|------|------------|-----|--------------|-----|-----|-----|
| | | | | | | | 老 人 | 児 童 | 障 害 | |
| 中 北 | 7 | 30 | 14 | 31 | 16 | 81 | 48 | 12 | 0 | 239 |
| 峡 北 | 1 | 4 | 7 | 12 | 6 | 23 | 23 | 1 | 0 | 77 |
| 峡 東 | 4 | 0 | 11 | 16 | 2 | 22 | 21 | 1 | 2 | 79 |
| 峡 南 | 1 | 0 | 3 | 1 | 1 | 8 | 22 | 3 | 1 | 40 |
| 富士・東部 | 5 | 0 | 9 | 13 | 5 | 22 | 26 | 4 | 1 | 85 |
| 合 計 | 18 | 34 | 44 | 73 | 30 | 156 | 140 | 21 | 4 | 520 |
- 新入会会員・退会会員の職域別内訳
- | 職 域 | 新入会員数 (人) | 退会者数 (人) |
|-----------|-----------|----------|
| 学校健康教育 | 0 | 2 |
| 研 究 教 育 | 5 | 2 |
| 公 衆 衛 生 | 6 | 0 |
| 地 域 活 動 | 9 | 7 |
| 勤 労 者 支 援 | 4 | 19 |
| 医 療 | 23 | 36 |
| 福 祉 | 18 | 30 |
| 合 計 | 65 | 96 |
- 退会会員の在年数内訳
- | 会 員 歴 | 退会会員数 |
|--------|-------|
| 2 年未満 | 43 |
| 5 年未満 | 28 |
| 10 年未満 | 10 |
| 20 年未満 | 4 |
| 20 年以上 | 11 |
| 合 計 | 96 |
- 退会理由
- | | |
|---------------|-------|
| ・育児のため | 4 人 |
| ・高齢になったため | 2 人 |
| ・会費が高い | 3 人 |
| ・県外へ転居 | 5 人 |
| ・親の介護のため | 1 人 |
| ・退職のため | 9 人 |
| ・栄養業務をやめたため | 1 人 |
| ・研修会に出席できないため | 13 人 |
| ・一身上の都合又は不明 | 65 人 |
| 合 計 | 103 人 |
- 3) 会費の自動振込の促進
- 会費の納入は、会費の早期納入と徴収時の事故防止、事務局業務の省力化の観点から、会員の預金口座 (銀行、郵便局) からの自動引
- き落とし制度の活用が原則であるが、全員の自動引落とし手続きにはならず、各支部、各職域部会の役員及び事務局から会員に理解を得る努力をした。
- 自動振り込み手続済み者の状況 (H 26.4.1 現在)
- | 職 域 事 業 部 | 会員数 | 手続者 | 手続率 (%) | 職 域 事 業 部 | 会員数 | 手続者 | 手続率 (%) |
|-----------|-----|-----|---------|-----------|-----|-----|---------|
| 学 校 | 18 | 13 | 72.0 | 地 域 活 動 | 73 | 52 | 71.2 |
| 公 衆 衛 生 | 44 | 19 | 43.0 | 医 療 | 156 | 77 | 49.4 |
| 研 究 教 育 | 34 | 24 | 70.6 | 福 祉 | 165 | 72 | 43.6 |
| 勤 労 者 支 援 | 30 | 13 | 43.3 | 計 | 520 | 270 | 51.9 |
- Ⅳ. 会務の執行状況
- 1) 定時総会
- 日 時：5 月 26 日 (日) 13：30 ～
- 会 場：ぴゅあ総合
- ・第 1 号議案 平成 24 年度事業報告・収入支出決算及び監査報告

・第 2 号議案 役員一部改正

・第 3 号議案 平成 25 年度事業計画 (案) 及び収入支出予算 (案)

・第 4 号議案 その他
- 2) 理事会
- 第 1 回：4 月 6 日 (土) 9：30 ～
- 会 場：ぴゅあ総合
- 1) 平成 24 年度事業報告及び収支決算について

2) 理事の一部変更について

3) 平成 25 年度定時総会について

4) 平成 25 年度年間予定について
- ・県委託事業「栄養なんでも相談事業」：栄養・食生活情報の提供、出前栄養相談 (児童館・小規模事業所など)

・ねんりんピック協力事業 (福祉・保健情報コーナー)

・県民の日記念行事協力事業

・山梨県歯科保健のつどい

・栄養業務研究発表会

・日本栄養士会委託事業

・日本栄養士会定時総会
- 第 2 回：H26 年 3 月 8 日 (土) 9：00 ～
- 会 場：ぴゅあ総合
- ・H25 年度事業の執行状況報告

・平成 26 年度生涯教育研修会の日程及びカリキュラムについて

・平成 26 年度定時総会の開催について

・新理事の選出について
- 8 栄養やまなし (No. 99)
- 栄養やまなし (No. 99) 9

・その他

V. 各種委員会等

1) 生涯学習委員会

第1回 日時：5月26日(日) 16:00～

会場：ぴゅあ総合

- ・平成24年度生涯学習研修会カリキュラムの確認
- ・平成25年度生涯学習研修会の運営について

第2回 日時：12月6日(金) 14:00～

会場：事務局

- ・平成26年度生涯教育研修会カリキュラムについて
- ・各職域からの講義及び講師の推薦について

第3回 日時：26年2月26日(水) 14:00～

会場：事務局

- ・平成26年度生涯教育研修会講師日程の調整

2) 「栄養・食生活情報」編集委員会

各委員より提出された原稿を検討

第1回 日時：7月19日(金) 14:00～

会場：栄養士会事務局

広報紙用14編・掲示ポスター、卓上メモ用4編を決定した。

【適正体重を維持していますか】

- ・良く噛んで、肥満予防
- ・良く噛んで低栄養を予防しよう

【減塩に心がけていますか】

- ・ちょっとした工夫で塩分を減らそう
- ・野菜と高血圧

【野菜を350g以上食べましょう】

- ・野菜を食べよう～1日に摂りたい望ましい野菜の量は350g～
- ・野菜を350g以上食べましょう

・野菜を食べて健康に

【果物は1日200gを目標に食べましょう】

- ・フルーツ王国山梨
- 【家族と一緒に食事をする「共食」の推進】

・仲間と楽しく食べる食事

【食への感謝の気持ちを持つ】

- ・感謝の気持ちを忘れずに、「いただきます」と「ごちそうさま」
- ・食事をすることへの感謝

・いただきます、ごちそうさまの意味

- ・家庭菜園から学んだ「自然をいただく」

【朝食を摂りましょう】

- ・朝食を摂りましょう
- ・朝食を摂りましょう

掲示ポスター用・卓上栄養メモ用

・野菜350gの献立例

・1日にとりたい果物の量

・塩分を控えても、味わい豊かなお食事を

・野菜摂取のために一工夫

第2回 日時：10月9日(水) 14:00～

会場：栄養士会事務局

広報紙用11編・掲示ポスター、卓上メモ用3編を決定した。

【適正体重を維持していますか】

- ・高齢者の痩せすぎを防ぐための食生活！
- ・高齢者の「粗食」に注意

・適正体重を知ることの習慣化

・体重減少ややせは低栄養の危険信号！

【減塩に心がけていますか】

- ・煮魚に牛乳を加えて減塩してみませんか？
- ・薄味で健康生活を！

【野菜を350g以上食べましょう】

・野菜を食べよう

【家族と一緒に食事をする「共食」の推進】

・心がけていますか、楽しい食事

・家族と一緒に食事を

【食品】

・体に不可欠！DHAって？

・美味しく冷凍するには(肉編)

掲示ポスター用・卓上栄養メモ用

・生活習慣病予防のためのバランスのとれた食事とは？

・あなたは適正体重ですか？

・減塩を心がけましょう

第3回 日時：26年1月30日(木) 14:00～

会場：栄養士会事務局

広報紙用11編・掲示ポスター、卓上メモ用6編を決定した。

【適正体重を維持していますか】

・若い人のやせに注意

・適正体重を維持していますか

・適正体重を知ろう

・やせ過ぎのリスクを軽減し、食欲増進の工夫を～やせていても生活習慣病のリスク大～

【減塩に心がけていますか】

・下ゆでの時、材料に塩分は残るの？

・旨味の正体

・減塩を成功させる“塩味”以外の味は？

【家族と一緒に食事をする「共食」の推進】

・家族でごはんを食べよう

・食を共にすること

・「共食」を心がけよう！

・家族みんなで食べよう

掲示ポスター用・卓上栄養メモ用

・塩分をチェックしてみましょう

・食塩を多く摂る原因は

・減塩するなら麺好きは要注意

・食塩制限についての留意点

・高血圧！お薬を飲んでいてと安心していませんか？！

・高血圧の人だけでなく、血圧が正常な人でも食塩を制限することが望まれる！

3) 「栄養やまなし」編集委員会(「栄養やまなし」

No.98号の企画編集)

第1回 9月12日(木) 14:00～

会場：栄養士会事務局 出席者10名

第2回 11月7日(木) 14:00～

会場：栄養士会事務局

第3回 12月13日(金) 14:00～

会場：栄養士会事務局

第4回 12月27日(金) 10:00～

会場：栄養士会事務局

4) 会長・副会長・総務部長・事務局打ち合わせ会

会場：栄養士会事務局

開催日：平成25年4月、5月、6月

平成26年2月、3月

議事：・理事会、定時総会の提出議案

・栄養ケア・ステーション事業

の運営

・疾病の重症化予防のための事業の運営

・特定保健指導の運営

・生涯学習研修会及びホームページの運営

VI. その他の事業等執行状況

会議・委員会・打合せ・・・共益事業

・Jミルク打合せ 5.17

・地域活動事業部打ち合わせ会 11.29 1.9

・国立循環器病センターとの減塩レシピ募集に関する打ち合わせ会 8.2

普及啓発事業・・・公益事業

・「食の祭典」栄養相談事業 5.15

・「食の安全・安心食育セミナー」栄養士会事業啓発ブース設置 9.18

・「がんフォーラム」栄養相談事業 9.29(会員7名出席)

・特定保健指導事業

中央建設国保 39件(管理栄養士10名)

山梨県職員共済 100件(管理栄養士10名)

富士河口湖町国保 8件(管理栄養士2名)

・国民文化祭への参加協力 1.12～11.10

(会長及び山梨学院短期大学依田教授他栄養士会員参加)

夏のステージオープニングイベント 6.30

国民文化祭甲府市実行委員会

「暮らしと味わいフェスティバル」会場

郷土食の紹介 10.19～20

総合フェスティバル 10.26

閉会式 11.10

・県職員共済バイバイメタボ教室 講演・栄養相談参加協力 関係機関・団体への協力・・・共

益事業、法人事業

・ねんりんピック打合せ(小林事務局員)

・県民の日打合せ(小林事務局員)

・ネスレとの打ち合わせ(事務局にて) 4.20

・Jミルク打合せ 5.17 8.9

・県食生活改善推進員連絡協議会総会出席(山本事務局長) 5.28

・県健やか山梨21推進会議総会 5.29

・富士河口湖町との打ち合わせ 5.3 7.19

・県職員共済組合打合せ 6.12

・県食育シンポジウム 6.20

甲府市食育推進計画策定委員会 7.22 10.23 1.9

・県食の安全・安心審議会 7.25

・健康長寿やまなし推進本部会議 7.26

・やまなし食の安全・食育推進大会運営委員会 8.1

・県地域・職域保健連携推進協議会 9.13

(深澤副会長)

・やまなし食の安全・食育推進大会 9.18

・県介護・医療連携推進協議会 9.18

・全国健康保険協会山梨支部「健康づくり推進協議会」

・病院入院患者等給食業務委託総合評価一般競争入札業者選定委員会 10.7 11.28

・健康長寿やまなし推進本部介護予防部会 10.10

・カゴメ株式会社との打ち合わせ 10.15

・食の安全・安心を語る会 11.26

健やか山梨21推進大会 12.1

第7回日本介護支援専門員協会全国大会in山梨 12.14

・県歯科口腔保健に関する計画策定検討委員会 12.17 12.26

・県食育推進協議会幹事会 12.18

・県食育推進協議会総会 1.18

・市町村行政栄養士配置要望活

11.22(西桂町・山中湖村)、11.25(中央市・富士川町)、12.3(市川三郷町・身延町)

・自民党への県要望事項事業説明 12.2

組織内事業への参加・・・共益事業、法人事業

・地域活動事業報告会 4.13

・中北支部事業報告会 5.10

・福祉事業部報告会 5.14

・医療事業部報告会 5.16

・医療事業部研修会 6.26 7.25

日栄関係参加事業・・・法人事業

・日栄・連盟定時総会 6.23～24(大阪市：3名出席)

・日栄・連盟・行政関東ブロック会議

8.22～23(新潟市：2名出席)

・日栄諮問会議 5.10～11 2.15～16

- ・「JDA-DAT（日本栄養士会災害支援栄養チーム）リーダー育成研修会」
11.2～3（仙台市、会員3名出席）
- ・日栄医療事業部ブロック研修会

- ・生涯学習研修会担当者会議 11.23
- ・業務支援システムワーキング 7.14 9.6
- ・全国栄養士大会・全国栄養改善大会
9.11（兵庫県）

平成25年度 保健所単位支部事業報告

中北支部

事業報告会・研修会・運営委員会

と き 5月10日（金）

ところ ぴゅあ総合

内 容 研修会

「感じの良い接遇マナーについて学ぼう」

講師 特別養護老人ホーム

ゆめみどり

施設長 大柴堅志 先生

- ・平成24年度事業・決算報告
- ・平成25年度事業計画・予算案
- ・「歯科フェスタ」の打ち合わせ

レンゲ祭りにおける栄養相談

と き 4月29日（月）

ところ 中央市ふるさとふれあいひろば

内 容 栄養相談

「歯と口の健康週間」への参加協力

と き 6月2日（日）

ところ 山梨県立図書館

内 容 栄養相談

麦・雑穀の普及、啓蒙活動

研修会 「ヤクルト工場見学とキリン御殿場蒸留所見学」

と き 8月28日（水）

ところ ヤクルト工場・キリン蒸留所

内 容 乳酸菌飲料についての学習

会員相互の親睦

運営会議

と き 9月27日（金）

ところ 大戸屋（ロックタウン）

内 容 11月の研修会の打ち合わせ

研修会

と き 11月22日（金）

ところ 山梨県立文学館（中北保健所と共催）

内 容 「日常の栄養業務のまとめ方ー統計の活用方法ー」

講師 山梨学院大学健康栄養学部

管理栄養学科 古閑美奈子

運営委員会

と き 2月28日（金）

ところ 奥京 小瀬店

内 容 平成25年度事業・会計報告

峡北支部

支部活動事業報告会

と き 5月15日（水）

ところ 田舎カフェ「オーチャード」

内 容 平成24年度活動報告・会計報告

平成25年度活動計画・収支予算（案）

各会員による自己及び施設紹介

研修会・親睦会

と き 5月15日（水）

ところ 田舎カフェ「オーチャード」

内 容 「今後の栄養士としての展望」

講師 山梨県栄養士会

会長 田草川憲男

「歯と口の健康週間」への参加協力

と き 6月2日（日）

ところ ①田富オギノリバーシティ

②韮崎市民交流センター

内 容 ・噛み応え体験用おやつ、チェック表配布

・噛むことの啓発資料、レシピ配布

・幼児食フードモデル展示

・おやつ栄養素比較等のポスター掲示

給食施設関係者研修会（保健所共催）

と き 8月7日（水）

ところ 北巨摩合同庁舎101会議室

内 容 講義

・施設における衛生管理

・健康施策における給食施設の役割

・災害時の為の新マニュアル策定

講師 中北保健所峡北支所

主幹 沓川 洋子 他

2. グループ討議

・各施設危機管理体制等

3. 噛み応えアンケート調査実施

スキルアップ研修会（保健所共催）

と き 26年1月30日（木）

ところ 北巨摩合同庁舎101会議室

内 容 「食べる機能の発達について」

講師 おざわ歯科医院

院長 小沢 章 先生

スキルアップ研修会（保健所共催）

（災害時における食事作り訓練）

と き 26年2月14日（金）

ところ 中北保健所峡北支所栄養室

内 容 調理実習

「災害時に活用できるレシピ」

講師 山梨県立北病院

栄養士長 平井美樹夫

（豪雪のため4月21日に変更）

運営委員会

第1回 4月18日（木）

活動報告会について

4月25日・5月30日

歯科保健事業準備等

第2回 6月25日（火）

給食施設研修会について等

第3回 11月26日（火）

研修会について

役員改選について

第4回 26年1月29日（水）

スキルアップ研修会について

役員改選について

第5回 26年3月25日（火）

平成26年度活動報告会について

役員改選について

ところ 中北保健所峡北支所栄養室

峡東支部

支部活動報告会

と き 4月19日（金）

ところ ふじ寿司

内 容 ・平成24年度事業・決算報告

・平成25年度事業計画・予算案

研修会

と き 4月19日（金）

ところ ふじ寿司

内 容 「脱水、経口補水療法について」

講師 大塚製薬工場（株）

坂本薫子

「歯と口の健康週間」への参加協力

と き 6月1日（土）

ところ ①イオン石和

②いちやま塩山店

内 容 ・パネルシアター等を使用した

食事指導・相談

・「まめっこ」を使用した箸の正しい持ち方指導

・もち麦、カルシウム強化菓子の配布等

・幼児食フードモデルの展示

・おやつ栄養素比較等のポスター掲示

給食施設関係者研修会（保健所共催）

と き 2月13日（木）

ところ 東山梨合同庁舎

内 容 1. 調理講習会・試食会

「とろみ食・ソフト食について」

講師 （株）ケー・アール・ジー

2. 各職域施設業務検討会

「ソフト食導入について」

講師 ヒルズ勝沼

管理栄養士 内田由紀子

役員会

峡南支部

運営委員会

と き 5月15日（水）

ところ 峡南保健福祉事務所（出席者5名）

内 容 ・平成24年度事業・決算報告

・平成25年度事業計画（案）について

運営委員会

と き 5月29日（水）

ところ 飯富病院（出席者5名）

内 容 ・歯と口の健康週間打ち合わせ

「歯と口の健康週間」への参加協力

と き 6月8日（土）

ところ 市川三郷町市川町民会館（参加者4名）

内 容 ・食育マットを使用した栄養指導

・カルシウム強化レシピの配布

・カルシウム量のクイズ

給食施設業務研修会・支部事業報告会

と き 6月20日（木）

ところ 峡南保健福祉事務所（参加者57名）

内 容 ・講演「給食施設の衛生管理」最新の話題から

講師 峡南保健福祉事務所衛生課

- 課長 土屋邦男
- ・講演「健やか山梨 21（第2次）と給食施設の役割」
- 講師 峡南保健福祉事務所
健康支援課主査 千頭和功
- ・峡南支部事業報告会
 - 平成 24 年度事業報告・会計報告
 - 平成 25 年度事業計画・予算について

給食施設業務研修会（峡南保健福祉事務所合同）

と き 10 月 16 日（水）

ところ 峡南保健福祉事務所（参加者 27 名）

内 容 ・講演「糖尿病の基礎知識とメタボの病態」

講師 社会保険齋沢病院
病理診断科部長 山根徹

- ・事例紹介「糖尿病栄養指導の実際」

社会保険齋沢病院 栄養科
管理栄養士 吉原京子

給食施設業務研修会（峡南保健福祉事務所合同）

と き 3 月 14 日（金）

ところ 峡南保健福祉事務所（参加者 29 名）

内 容 各職域別栄養業務研究会活動のまとめ
活動事例発表「今年度の研究会活動のまとめ」

峡南病院管理栄養士 宮川佐智子
みのお荘 栄養士 笠井千恵美
定林寺立正保育園栄養士
熊谷敬子

「わたしのおすすめメニュー 2013 年度版」
の作成事業

編集委員会（4 回）7 月 17 日（水）
10 月 9 日（水）・11 月 21 日（木）
峡南保健所

26 年 1 月 15 日（水）しもべ荘
・レシピ集作成への参加者（29 名）

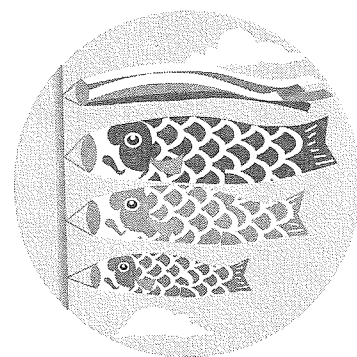
富士・東部支部

- 事業報告会・研修会
- と き 5 月 12 日（日）
- ところ 都留市 光千
- 内 容 報告会
- ・平成 24 年度事業報告・収支決算報告
 - ・平成 25 年度事業計画（案）・収支予算（案）
- 研修会
- 「健やか山梨 21（第2次）」について
- 講師 富士・東部保健福祉事務所
健康支援課長 相原恵子

- 「歯と口の健康週間」への参加協力
- と き 6 月 1 日（土）
- ところ Q-STA
- 内 容 ・栄養相談
- ・もち麦、カルシウム強化菓子の配布
 - ・栄養関係資料の配布

- 給食従事者研修会
- と き 8 月 1 日（木）262 名
- ところ 昭和大学富士吉田校舎
- 内 容 講 話
- ・「健やか山梨 21（第2次）」の概要について
- 講師 富士・東部保健福祉事務所
健康支援課 進士瑞穂
- ・「災害時の特定給食施設等のためのマニュアル策定の手引」について
- 講師 富士・東部保健福祉事務所
健康支援課 相原恵子
- ・「食中毒予防について」
- 講師 富士・東部保健福祉事務所
衛生課 鈴木妙子

- 視察研修
- と き 10 月 11 日（金）
- ところ エルフィンインターナショナル
- 内 容 ・小麦粉アレルギー対応商品の説明
- ・米粉使用のパン工場見学



平成 25 年度 職域事業部事業報告

学校健康教育事業部

- 事業報告会
- と き 6 月 6 日（木）9 名
- ところ 山梨県総合教育センター
- 内 容 ・平成 24 年度事業・決算報告
- ・平成 25 年度事業計画・予算案

- 学習会
- と き 8 月 13 日（火）8 名
- ところ 山梨県立ろう学校
- 内 容 折り紙を使った掲示物作成
「掲示板を華やかに」
- 講師 上野原小学校 栄養教諭
大神田志保

公衆衛生事業部

- 事業報告会
- と き 5 月 25 日（土）参加者 18 名
- ところ 山梨県地場産業センター「かいてらす」
- 内 容 ・平成 24 年度事業・収支決算報告
- ・平成 25 年度事業計画・予算案

- 研究事業検討会（第1回）
- と き 5 月 25 日（土）参加者 18 名
- ところ 山梨県地場産業センター「かいてらす」
- 内 容 研究事業「低出生体重児について」
- ・山梨県の低出生体重児の出生状況把握
 - ・母子保健関係者向け研修会の開催
 - ・会員向け進捗状況の配信

- 研究事業検討会（第2回）
- と き 6 月 20 日（木）参加者 6 名
- ところ 甲府市
- 内 容 ・研究事業の公衆衛生学会発表について
- ・福岡先生の研修会の開催について
 - ・今後のロードマップについて

- 研究事業検討会（第3回）
- と き 7 月 27 日（土）参加者 7 名
- ところ ウエルシティ甲府
- 内 容 ・学会発表内容確認
- ・研修会開催に向けて
 - ・人口動態調査データの目的外申請

- 県健康増進課長との話し合い
- と き 8 月 26 日（月）参加者 6 名
- ところ 県健康増進課

- 内 容 ・低出生体重児に関する研究事業取組
みの報告と課題

- 研究事業検討会（第4回）
- と き 10 月 9 日（水）参加者 5 名
- ところ 甲府市
- 内 容 ・公衆衛生学会について
- ・研修会開催に伴う役割について
 - ・報道関係者への情報提供

- 報道関係者への情報提供
- と き 10 月 15 日（火）参加者 5 名
- ところ 甲府市
- 内 容 ・低出生体重児に関する研究事業取組

- 日本公衆衛生学会発表
- と き 10 月 25 日（金）参加者 4 名
- ところ 三重県
- 内 容 テーマ
「在胎週数別にみた低出生体重児の出生割合について」

- 次世代の健康を考える研修会
- と き 11 月 1 日（金）参加者 95 名
- ところ ぴゅあ総合
- 内 容 講演「低出生体重児のその後の影響」
～山梨県における低出生体重児の出生状況から見えること～
- 講師 早稲田大学 胎生期エビジェネ
ティックス制御研究所
教授 福岡秀興

- 研究事業検討会（第5回）
- と き 11 月 14 日（木）参加者 5 名
- ところ 甲府市
- 内 容 ・研修会アンケートのまとめ
- ・次年度の方向性

- 会員向け進捗状況の配信
- ・ニュースレターとして、7 月・9 月・10 月
12 月に配信

勤労者支援事業部

- 研修会
- と き 26 年 1 月 9 日（木）
- ところ 株式会社NECライベックス
- 内 容 「事業所給食における健康づくり

啓蒙活動」研修会
講師 株式会社NECライベックス
管理栄養士 伊藤貴子
内容 実際に提供されている給食を見学、健康づくりのための啓蒙活動資料見学、ヘルシーランチの試食、事業所栄養士としての業務内容について・麦を使用したレシピ集の配布

運営委員会
と き 26年3月1日(土)
ところ ガスト(甲府)
内 容 ・平成25年度事業・決算報告
・経過報告について
・平成26年度事業計画・予算案

研究教育事業部
日本栄養士会全国研究教育職域事業部
関東・甲信越・京浜ブロック研修会日時
と き 8月31日(土)
ところ 東京家政大学
内 容 「日本における食環境の現状と課題」
「今後の食品表示の在り方」

全国研究教育栄養士研修会
と き 3月1日(土)
ところ 奈良女子大学
内 容 「研究マインドを有する学生の養成」

研究教育事業部リーダー研修会
と き 3月2日(日)
ところ 奈良女子大学
内 容 「管理栄養士・栄養士養成に関する今後の方向性について」
「職業倫理と栄養士活動について」
「災害栄養における役割について」

研修会
と き 3月20日(木)
ところ ソイワールド(南アルプス市小笠原)
内 容 大豆丸ごと豆腐・豆乳工場見学

事業報告会
と き 3月20日(木)
ところ 山梨学院
内 容 平成25年度事業報告・収支決算報告
平成26年度事業計画・予算案
研修会等参加報告・役員改選・生涯教育制度概要について

地域活動事業部
事業部活動報告及び研修会
と き 4月13日(土) 参加者 25名
ところ ぴゅあ総合
内 容 ・平成24年度事業・決算報告
・平成25年度事業計画・予算案
研修会 「生活リズムを視点としたアセスメントから見えること」
講師 管理栄養士 新井孝子

運営会議
と き 4月13日・9月14日・11月29日
1月9日・3月29日 5回

執行部会議 11月17日
ところ ぴゅあ総合 役員 13名
内 容 事業部の活動について
研修会についてなど検討

*食育資料打ち合わせ
6月30日 5名 秋山会員宅

研修会
と き 6月8日(土) 参加者 11名
ところ 山梨県立図書館
内 容 食育事前研修「子育て中の母親の悩み」
講師 管理栄養士 新井孝子

研修会
と き 11月2日(土) 参加者 13名
ところ 「マルサマルシェクッキングスタジオ」
内 容 クッキング体験
＜スイートポテトづくりと楽しくランチ＞
講師 管理栄養士 古屋千鶴 会員
話し合い 事業部の現状と今後について

出前栄養相談(県委託児童館食育事業)
期間 7月4日～平成26年1月14日まで
5市 1町 27カ所
管理栄養士・栄養士 17名 延べ 54名

甲府市「街なか健やかサロン」
(山梨県看護協会委託事業)
食育教室および糖尿病予防教室
4月18日～平成26年3月20日 16回
延べ 16名

全国地域活動事業協議会関係(事業部長参加)
・9月7日 全国栄養士大会 神戸市
・9月7日 地栄協自由集會 神戸市
・9月25日～26日 栃木県那須市

関東ブロック研修会
・2月7日～8日 横浜市
・地栄協全国リーダー 研修会
・第31回公衆栄養活動研究会

医療事業部
医療事業部報告会
と き 5月16日(木)
ところ ぴゅあ総合 会議室
内 容 ・平成24年度事業・会計報告
・平成25年度事業・予算(案)
・平成25年度研究発表会について

研修会
内 容 「～病院から在宅へ～」牧丘病院で行っている訪問栄養指導について
講 師:山梨市立牧丘病院
管理栄養士 町田 真実

研修会
と き 5月30日(木) 6月27日(木)
7月25日(木) 1月30日(木)
3月28日(金)
ところ ぴゅあ総合 研修室
内 容 多職種協働による地域連携について
連携サマリー作成など
講 師 山梨学院大学 健康栄養学部
管理栄養学科 林 静子先生

研修会
と き 7月25日(木)
ところ 山梨学院大学
内 容 身体計測の手法
講 師 アボットジャパン学術担当

医療事業部関東甲信越地区リーダー育成研修会
と き 2月1日(土)
ところ ぴゅあ総合
内 容 「肝疾患の栄養指導の実際」
講 師 三重大学医学部附属病院
病院長顧問 岩田加壽子先生
「生涯教育制度と診療報酬改定について」
(公社)日本栄養士会医療事業部常任企画
運営委員長 石川祐一委員長

委員会
と き 4月19日(金) 8月23日(金)
3月25日(火)
ところ ぴゅあ総合

協力事業
と き 9月29日(日)
ところ 県立図書館
内 容 第7回山梨がんフォーラムにおいて

栄養相談・展示
と き 12月8日(日)
ところ 県立図書館
内 容 がん啓発チャリティーコンサートにおいて栄養相談
*今年度は、医療事業部関東甲信越地区リーダー育成研修会の担当県として、委員の協力により無事役目を果たすことができた。

福祉事業部(高齢・障害)
報告会及び研修会
と き 5月14日(火)
ところ ぴゅあ総合
内 容 ・平成24年度事業・決算報告
・平成25年度事業計画・予算案
「嚥下食と最新の介護食情報」
情報提供:(株)フードケア
(株)マルハチ村松

運営会議
と き 5月14日(火)
ところ ぴゅあ総合
内 容 ・次回研修会開催について

運営会議
と き 8月28日(水)
ところ ぴゅあ総合
内 容 ・次回研修会開催について

研修会
と き 10月19日(土)
ところ ぴゅあ総合
内 容 「高齢者の疾患と生理機能障害について」
講 師 樋口内科医院
院長 樋口幸司

運営会議
と き 11月22日(金)
ところ ぴゅあ総合
内 容 ・次回研修会開催について

研修会
と き 1月17日(金)
ところ ぴゅあ総合
内 容 「災害時の食事管理について」

～ JDA-DAT 研修報告」
報告者 風林荘 武井さおり会員
しおかわ福寿の里
田村礼江会員

勝沼市民会館、玉穂総合会館
内 容 総会打ち合わせ
クッキング講座打ち合わせ等

運営会議
と き 1月17日(金)
ところ ぴゅあ総合
内 容 ・次回研修会開催について

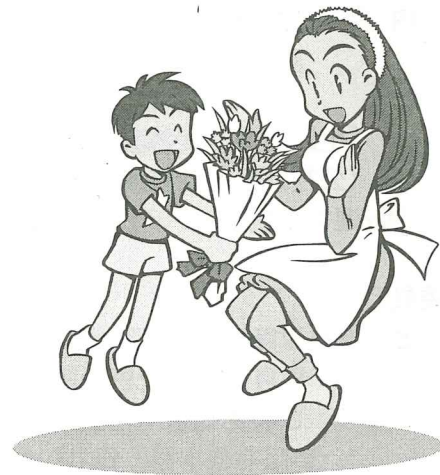
運営会議
と き 3月20日(木)
ところ ぴゅあ総合
内 容 ・次回研修会開催について

福祉事業部(児童)
事業報告会
と き 6月8日(土)
ところ 山梨県立文学館
内 容 ・平成24年度事業・決算報告
・平成25年度事業計画・予算案

研修会
と き 6月8日(土)
ところ 山梨県立文学館
内 容 「乳幼児の食べ方の発達と栄養士の役割」
講師 昭和大学歯学部
名誉教授 向井美恵

児童福祉施設におけるクッキング講座
と き 11月9日(土)・11月16日(土)
ところ 勝沼市民会館 ・玉穂総合会館
内 容 午前「スキムミルクを使用した調理実習」
午後「アレルギー疾患の理解と対応について」
講師 山梨厚生病院小児科
医師 池田久剛
「保育所栄養士に必要なもの
～健やか山梨21(第2次)～
講師 山梨学院短期大学
教授 田草川憲男

定例会
と き 4月20日(土)・5月11日(土)
6月8日(土)・7月6日(土)
8月24日(土)・9月21日(土)
10月26日(土)・12月21日(土)
1月25日(土)・3月8日(土)
ところ 健康の杜アネシス



平成 25 年度収入支出計算書
平成 25 年 4 月 1 日～平成 26 年 3 月 31 日

収入の部 (単位:円)

収入項目		公1事業 (1)	収1事業 (2)	他1事業 (3)	法人会計 (4)	予算額 (5)	決算額 (1+2+3+4)	比較増減 (5)-(1+2+3+4)	摘要
会費	受取入会金	32,500			32,500	60,000	65,000	△ 5,000	1000円×65名
	受取正会員費	1,950,000			1,950,000	3,975,000	3,900,000	75,000	7500円×520名
	受取賛助会員費	275,000			275,000	540,000	550,000	△ 10,000	10000円×53社・20000円×1社
	栄養なんでも相談事業	427,564			183,242	610,806	610,806	0	山梨県委託事業
委託事業	強化精麦普及啓発事業	200,000			40,000	240,000	240,000	0	山梨県精麦工業協同組合委託事業
	セミナー「牛乳を科学する」講演会	224,000			96,000	260,000	320,000	60,000	日本栄養士会委託事業
	クッキング講座	210,000			90,000	0	300,000	300,000	日本栄養士会委託事業
事業収益	特定保健指導事業	504,000			216,000	3,927,096	720,000	3,207,096	中央建設国保(積極的支援17名・動機付け支援21名)
	生涯学習研修会	4,432,743			189,974	720,000	633,249	86,751	生涯学習研修会受講料(一括55人×8000円・単価169件×1000円・費会員受講料等)
	展示料		260,000			340,000	260,000	80,000	総会時展示料 20000円×13社
受取寄付金	寄付金				0	0	0	0	
雑収益	手数料				26,000	26,500	26,000	500	日本栄養士会会員管理事務手数料 50円×520名
	雑収入				230	230	276	△ 46	銀行利息等
当期収入合計		8,255,807	260,000	0	3,098,946	10,699,536	7,625,331	3,074,205	
前期繰越収支差額						169,791	169,791	0	
収入合計						10,869,327	7,795,122	3,794,301	

支出の部

支出項目		公1事業 (1)	収1事業 (2)	他1事業 (3)	法人会計 (4)	予算額 (5)	決算額 (1+2+3+4)	比較増減 (5)-(1+2+3+4)	摘要
事業費	(栄養ケアステーション運営)								
	栄養なんでも相談事業	427,564			183,242	610,806	610,806	0	山梨県委託事業
	強化精麦普及啓発事業	200,000			40,000	240,000	200,000	40,000	山梨県精麦工業協同組合委託事業
	セミナー「牛乳を科学する」講演会	224,000			96,000	260,000	320,000	△60000	日本栄養士会委託事業
	クッキング講座	210,000			9000	0	300,000	△ 300,000	日本栄養士会委託事業
	歯科保健のつどい事業	18,250				20,000	17,637	2,363	県歯科医師会協力事業
	県民の日事業	48,551			20,807	50,000	69,358	△ 19,358	県民の日協力(精麦普及事業)
	ねんりんピック事業	11,274			4,831	20,000	16,105	3,895	いきいき山梨ねんりんピック協力
	特定保健指導事業	444,850			190,650	3,927,000	635,500	3,291,500	特定保健指導指導者報償費、指導用資料、研修用講師料等
	生涯学習研修会	443,274			189,975	720,000	633,249	86,751	講師手当、会場費、印刷製本費等
	ホームページ運営費	60,000				60,000	30,000	30,000	
	職域活動費	235,500			101,000	340,000	336,500	3,500	均等割 20,000 円 ×7 職域、会員割 (9 月末現在会員数) 自動振込@ 500 円 × 265 人 自払@ 250 円 × 267 人
	研究発表会	7,148			3,064	10,000	10,212	△ 212	会場費、印刷製本費
	会員広報費	0		577,529		650,000	577,529	72,471	印刷製本費、通信運搬費、旅費等
	役員手当	65,044			151,770	220,000	216,814	3,186	会長、副会長、理事等の役員手当、役員渉外費
管理費	職員給料	653,100			1,523,900	2,177,000	2,177,000	0	事務員給料・監査員手当
	会議費	108,414			108,413	150,000	216,827	△ 66,827	日本栄養士会総会、法人会議、諮問会議、関東ブロック会議、理事会等
	事務所管理費	404,337			404,337	800,000	808,674	△ 8,674	事務所家賃、共用経費負担金
	事務所運営費	262,341			262,341	470,000	524,682	△ 54,682	印刷機保守・リース料、コピー使用料、プロバイダー料、電話料、ウィルスソフト料、消耗品費、印刷製本費、通信運搬費
	総会費				q2	30,000	29,824	176	会場費、印刷製本費等
雑費	慶弔費				0	30,000	0	30,000	
	雑費				0	11,194	0	11,194	
当期支出合計		3,823,647	0	577,529	3,289,330	10,869,327	7,730,717	3,138,610	
当期収支差額							64,405		
次期繰越金							64,405		

公益社団法人山梨県栄養士会
一般会計

正味財産増減計算書
平成25年4月1日から平成26年3月31日まで
(単位:円)

科目	当年度	前年度	増減
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
受取入会金	387,500	79,000	308,500
受取入会金	387,500	79,000	308,500
受取会費	4,127,500	4,697,500	-570,000
正会員会費	3,577,500	4,207,500	-630,000
賛助会員会費	550,000	490,000	60,000
事業収益	2,233,249	6,728,345	-4,495,096
生涯学習研修会事業収益	633,249	743,868	-110,619
展示料収益	260,000	300,000	-40,000
その他事業収益	1,340,000	5,684,477	-4,344,477
受取補助金等	240,000	240,000	0
受取補助金等	240,000	240,000	0
受取助成金	610,806	610,806	0
受取助成金	610,806	610,806	0
特別会計繰入金	0	118,335	-118,335
厚生労働大臣表彰御礼	0	118,335	-118,335
雑収益	28,904	28,735	169
受取利息	904	685	219
受取手数料	26,000	28,050	-2,050
雑収益	2,000	0	2,000
経常収益計	7,627,959	12,502,721	-4,874,762
(2) 経常費用			
事業費	3,756,896	8,418,056	-4,661,160
給料手当	100,000	100,000	0
臨時雇賃金	0	318,166	-318,166
支払報酬	1,259,770	2,814,508	-1,554,738
会議費	98,591	364,750	-266,159
旅費交通費	646,307	1,030,620	-384,313
通信運搬費	183,117	409,465	-226,348
消耗品費	45,915	56,067	-10,152
印刷製本費	417,390	1,005,191	-587,801
賃借料	57,070	97,990	-40,920
諸謝金	92,876	36,353	56,523
委託費	536,500	588,750	-52,250
支払手数料	0	250,425	-250,425

公益社団法人山梨県栄養士会
一般会計

財産目録
平成26年3月31日現在
(単位:円)

貸借対照表科目		場所・物量等	使用目的等	金額
(流動資産)	預金	普通預金 山梨中央銀行甲府駅前支店 No287270	公益目的事業使用	64,405
		定期預金 山梨中央銀行甲府駅前支店 No88922	公益目的事業使用	1,206,949
流動資産合計				1,271,354
(固定資産)	その他固定資産			2,000
	電話加入権			2,000
固定資産合計				2,000
資産合計				1,273,354
正味財産				1,273,354

上記のとおり相違ありません

平成26年3月31日

公益社団法人山梨県栄養士会
会長 田草川 憲 男
副会長 遊 佐 渚
副会長 深 澤 幸 子
総務部長 平 井 美樹夫

公益社団法人山梨県栄養士会
一般会計

貸借対照表
平成26年3月31日現在
(単位:円)

科目	当年度	前年度	増減
I 資産の部			
1. 流動資産			
現金預金	1,271,354	1,376,112	-104,758
流動資産合計	1,271,354	1,376,112	-104,758
2. 固定資産			
(3) その他固定資産			
電話加入権	2,000	0	2,000
その他固定資産合計	2,000	0	2,000
固定資産合計	2,000	0	2,000
資産合計	1,273,354	1,376,112	-102,758
III 正味財産の部			
1. 指定正味財産			
指定正味財産合計	0	0	0
2. 一般正味財産	1,273,354	1,376,112	-102,758
正味財産合計	1,273,354	1,376,112	-102,758
負債及び正味財産合計	1,273,354	1,376,112	-102,758

監査報告

定款第14条及び第25条の規定により、平成25年度事業報告、収入支出計算書、財産目録について監査を実施しましたところ、その内容は適正なものと認めます。

平成26年4月9日

監事 大森光子

監事 齋藤正治

公益社団法人山梨県栄養士会
会長 田草川 憲 男 様

役員改選（案）

[公益社団法人山梨県栄養士会定款第22条に基づく役員選出]

	氏名	支部・職域名	勤務先名
会長			
副会長			
副会長			
理事	大神田 志保	学校健康教育事業部	上野原小学校
理事	秋山 知子	学校健康教育事業部	昭和町学校給食センター
理事	廣瀬 真美	公衆衛生事業部	峡南保健福祉事務所
理事	佐藤 悦子	公衆衛生事業部	北杜市役所
理事	田草川 憲男	研究教育事業部	山梨学院短期大学
理事	依田 萬代	研究教育事業部	山梨学院短期大学
理事	大柴 由紀	勤労者支援事業部	キープ自然学校
理事	沢登 京子	地域活動事業部	
理事	福永 千賀代	地域活動事業部	
理事	里吉 ひろ美	地域活動事業部	
理事	深澤 幸子	医療事業部	あきやま医院
理事	平井 美樹夫	医療事業部	県立北病院
理事	小林 貴子	医療事業部	山梨大学医学部附属病院
理事	吉原 京子	医療事業部	峡南医療センター富士川病院
理事	堀口 一美	福祉事業部	甲府相川ケアセンター
理事	藤井 匡明	福祉事業部	特別養護老人ホーム南岳荘
理事	土屋 加織	福祉事業部	特別養護老人ホーム寿荘
理事	守屋 喜久代	福祉事業部	介護老人施設コスモ
理事	土橋 きく江	福祉事業部	三珠保育園

監事	大森 光子	大森・中込孝元税理士事務所	
監事	遊佐 渚	研究教育事業部	秀峰調理師専門学校

日本栄養士会代議員

	氏名	公益社団法人 山梨県栄養士会定款
代議員	田草川 憲男	第5章 役員
代議員	渡邊 富雄	（役員の設置）
代議員	深澤 幸子	第22条 本会に、次の役員を置く
予備代議員	平井 美樹夫	（1）理事 15人以上20人以内
		（2）監事 2人以内
		2 理事のうち1名を会長、2名以内を副会長と、1名を常務理事とする。

平成26年度事業計画（案）

- 基本方針
- 本会は県民の健康づくりを推進し、「健康はつくるもの」という視点にたち積極的に病気の発生そのものを予防する取り組みを行い、「健やかにより良く生きる」というニーズに応え、保健、医療、福祉及び教育等の分野において、職業倫理と高度な専門性を以て、科学的根拠に基づく食と栄養の指導をとおして県民の栄養を改善し、もって健康の維持増進を図り、福祉の向上に寄与することを目的とした公益社団法人としての取り組みを進めます。
- そのために、職業倫理観の高い、専門性を十分に備えた人材の育成の観点から生涯学習制度を大幅に見直し、栄養士・管理栄養士が保持し続けなければならないミニマムスタンダードを掲げるなどの新「生涯教育制度」をスタートいたします。すべての栄養士・管理栄養士が受講することを目標とします。
- また、栄養ケアステーションにおいては、生活習慣病等の慢性疾患患者の治療は長期のケアが必要であり、在宅医療が進められる中、地域で社会的、心理的な観点に配慮した、生活のQOLの向上につなげる栄養ケアが必要でありことから、平成23年度から進めております「疾病の重症化予防のための食事指導活動拠点整備事業」としての、地域のクリニック等に管理栄養士を派遣して、栄養指導・相談を行う事業をさらに進める必要があります。
- さらに、特定健診・特定保健指導の導入から5年が過ぎ、一次予防の成果が少しずつ明確になってきました。徐々にではあるがその重要性が認識され管理栄養士の果たす役割はますます大きくなると考えられます。
- 本会も特定保健指導実施機関として保健指導へ対応する管理栄養士の質の充実と事務局における業務の受け入れ態勢の更なる充実を図る必要があります。
- また、生活習慣病予防や食育活動等を充実するため、すべての市町村や学校に行政管理栄養士や栄養教諭の配置を進める活動も引き続き行う必要があります。
- さらに、本会は、公益法人として、県の「健やか山梨21（第2次）」の推進、特に「栄養・食生活」部門の普及・啓発活動を中心とした取り組みを通して、県民の健康づくりの一役を担うものであります。
- 1 公益活動（県民の健康づくりへの協力）

1）栄養ケア・ステーションの事業の充実・強化

専門職の立場から個々人に対応した適切な栄養指導を行い、県民の栄養改善、健康づくりの推進を図る。

(1) なんでも栄養相談（電話相談・面接相談）（県委託事業）

(2) 出前栄養相談（県委託事業）

小規模事業所の従事者及び児童館を利用する親子を対象に生活習慣病予防及び食育の推進等、県民の健康づくり・食育活動に協力する。

(3) ホームページの多面的活用による管理栄養士・栄養士及び県民に対するサービス

(4) 特定保健指導事業の実施

(5) 「栄養・食生活情報」を市町村・食生活改善推進委員会等に対して・ホームページを通じ、
- 2 管理栄養士・栄養士の資質の向上

1) 生涯教育研修会により、管理栄養士・栄養士の資質の向上を図る。

2) 会報「栄養やまなし」の充実および相互の情報交換の充実を図る。

3) 県等と共催の栄養士研修会を開催する。

4) 本会が主催または共催する、各種イベントを積極的に開催し、見識を広げることにより、人間性豊かな栄養士をめざして努力する。

5) 栄養業務研究発表会は日頃の職場や職域での取り組みを発表し、栄養士同士の職域を超えた理解を深めるために開催する。

6) 本会ホームページが管理栄養士・栄養士及び県民の便利なツールとなるよう、内容の充実とタイムリーな情報の更新を行う。
- 3 組織強化（会員増と組織の活性化）

(1) 会費の口座（銀行、ゆうちょ銀行）引き落とし制度を支部、職域事業部などで機会あるごとに会員にすすめ、会費未納防止に努める。

(2) 支部役員及び職域事業部役員は、所属会員の動向を把握し、組織強化を図る。

(3) 支部、職域事業部は、孤立しがちな会員のよき相談役になれるような手立てを講じて、管理栄養士・栄養士の結束に向けた協力を進める。

(4) 会員の退会防止に努める（継続会員維持）

(5) 公益社団法人への移行に伴い、総事業費の50パーセントを公益事業でまかなうなど、県民の健康増進のための事業を進める。
- 広く県民の健康づくりの知識の提供を行う。（県委託事業）
- (6) 「健康栄養セミナー」の実施 7月5日(土)

栄養価の高い「大豆」にスポットをあてて、健康の保持増進を図るセミナー

(7) 「メタボリックシンドローム予防のためのセミナー」の実施 月 日()

2) 管理栄養士等未設置市町村に対する設置要望活動を日本栄養士連盟山梨県支部と連携して進める。

3) 「歯と口の健康週間」「ねんりんピック」、「県民の日」、「県民歯科保健のつどい」等の事業に協力し、健康づくり栄養・食生活指導の専門職組織として県民の健康づくりのための普及啓発活動を行う。

4) 「強化精麦普及啓発事業」をさらに積極的にすすめ、健康づくり、食生活改善活動を進める。

5) 各支部・各職域事業部は、管理栄養士・栄養士及び県民を対象としたイベントの開催や他団体と共催し、県民の健康づくりを進める。

6) 県民の健康づくり計画である「健やか山梨21（第2次）」の推進に協力し、特に、減塩の普及など「栄養・食生活」部門の数値目標の達成に努める。

7) 各種機関・団体等との連携する活動を強化する。

平成 26 年度栄養士会予算（案）

平成 26 年 4 月 1 日～平成 27 年 3 月 31 日

収入の部

(単位:円)

収入項目		公1	収1	他1	法人会計	前年度 予算額	予算額	比較増減	摘 要
会費	受取入会金	30,000			30,000	60,000	60,000	0	1,000 円 × 60 名
	受取正会員費	195,000			195,000	3,975,000	3,975,000	0	7,500 円 × 530 名
	受取賛助会員費	265,000			265,000	540,000	550,000	△ 10,000	10,000 円 × 53 社・20,000 円 × 1 社
委託事業	栄養なんでも相談事業	427,564			183,242	610,806	610,806	0	山梨県委託事業（児童館・小規模事業所・栄養食生活情報）
	強化精麦普及啓発事業	200,000			40,000	240,000	240,000	0	山梨県精麦工業協同組合委託事業（支部活動費 5 支部 × 40,000 円・県民の日事業 40,000 円）
	指導者のための健康・栄養セミナー	210,000			90,000	0	300,000	△ 300,000	日本栄養士会委託事業
	メタボリックシンドローム予防のための健康セミナー	265,000			85,000	0	350,000	△ 350,000	日本栄養士会委託事業
	セミナー「牛乳を科学する」講演会					260,000	0	260,000	日本栄養士会委託事業
	児童福祉施設「クッキング」講座					0	0	0	日本栄養士会委託事業
	強化精麦普及啓発事業								
事業収益	強化精麦普及啓発事業								
	特定保健指導事業	1,890,000			810,000	3,927,000	2,700,000	1,227,000	特定保健指導専科（山梨県職員共済）
	生涯教育研修会	504,000			216,000	720,000	720,000	0	生涯教育研修会受講料
	展示料		280,000			340,000	280,000	60,000	総会時展示料 20,000 円 × 14 社
受取寄付金	寄付金								
雑収益	手数料	37,100			15,900	26,500	53,000	△ 26,500	日本栄養士会会員管理事務手数料 100 円 × 530 名
	雑収入					230	276	△ 46	銀行利息等
当期収入合計		4,023,664	280,000	0	1,930,142	10,699,536	9,839,082	860,454	
繰越収支差額						96,464	64,405	32,059	
収入合計						10,796,000	9,903,487		

支出の部

支出項目		公1	収1	他1	法人会計	前年度 予算額	予算額	比較増減	摘要
事業費	栄養ケアステーション運営							0	
	栄養なんでも相談事業	427,564			183,242	610,806	610,806	0	山梨県委託事業（児童館、小規模事業所、栄養食生活情報等）
	強化精麦普及啓発事業	168,000			72,000	240,000	240,000	0	山梨県精麦工業協同組合委託事業 5 支部 × 40,000 円、県民の日事業 40,000 円
	指導者のための健康・栄養セミナー	210,000			90,000	0	300,000	△ 300,000	日本栄養士会委託事業
	メタボリックシンドローム予防のための健康セミナー	265,000			85,000	0	350,000	△ 350,000	日本栄養士会委託事業
	セミナー「牛乳を科学する」講演会					260,000	0	260,000	日本栄養士会委託事業
	児童福祉施設「クッキング」講座					300,000	0	300,000	日本栄養士会委託事業
	栄養管理研修	7,000			3,000	0	10,000	△ 10,000	山梨県と共催（会場費等）
	歯科保健のつどい事業	14,000			6,000	20,000	20,000	0	健康相談
	県民の日事業	35,000			15,000	50,000	50,000	0	健康相談（強化精麦普及事業）
	ねんりんピック事業	14,000			6,000	20,000	20,000	0	健康相談
	特定保健指導事業	1,890,000			810,000	3,927,000	2,700,000	1,227,000	特定保健指導報償費、指導用資料、研修用講師料等
	生涯教育研修会	504,000			216,000	720,000	720,000	0	講師手当、会場費、印刷製本費等
	ホームページ運営費	0			0	60,000	50,000	10,000	ホームページ運営費
	職域事業部活動費	238,000			102,000	340,000	340,000	0	7 職域 × 20,000 円 + 会員数 × 250 円 + 自動引き落とし会員数 × 250 円
	研究発表会	7,000			3,000	10,000	10,000	0	会場費等
	会員広報費	0		470,000	100,000	650,000	570,000	80,000	栄養やまなし 2 回発行印刷、発送料、編集委員旅費等、事務局長給料 1 ヶ月分含む
管理費	役員手当	110,000			110,000	220,000	220,000	0	会長、副会長役員手当等
	職員給料	1,088,500			1,088,500	2,177,000	2,177,000	0	事務局長 11 ヶ月・事務局員 12 ヶ月監査員手当
	会議費	75,000			75,000	150,000	150,000	0	理事会、日本栄養士会総会、法人会議等
	事務所管理費	410,284			410,284	800,000	820,568	△ 20,568	事務所家賃（消費税 8% 含）、共用経費（電気料）
	事務所運営費	235,000			235,000	470,000	470,000	0	印刷機リース料、コピー使用料、電話料、印刷機保守料、ヤフー使用料、セキユリティー使用料、会員管理手数料等
	総会費	15,000			15,000	30,000	30,000	0	会場費等
	慶弔費					30,000	30,000	0	
雑費	雑費				15,067	11,194	15,113	△ 3,919	銀行振り込み、コンビニ、リコー手数料、消費税
他会計振替額									
当期支出合計		5,713,348	0	470,000	3,640,093	10,796,000	9,903,487	1,192,513	
当期収支差額									
次期繰越金									

☆ 賛 助 会 員 名 簿 ☆

平成 26 年 3 月 31 日現在

社 名	電 話	担 当	業 務 内 容
エ コ ア 株 式 会 社	055-241-1755	相 川 秀 樹	防鼠害虫駆除
和 泉 産 業 株 式 会 社	055-222-1153	高 石 俊 二	食器、厨房機器
上 田 屋	055-266-2331	上 田 昭 雄	ソフクリーン、もずく
大 塚 製 薬 甲 府 出 張 所	055-276-8581	村 上 裕 之	ポカリスエット、ネイチャーメート
オ ギ ノ 食 糧 (株)	055-222-5181	深 沢 千恵子	給食材料
(有) オ ブ プ リ ン テ イ ン グ	055-235-6010	丸 山 健	印刷、出版、紙工
(株) 三 和 化 学 研 究 所 甲 信 支 店	0263-36-1771	中 山 清 高	医療用食品の研究開発・販売
甲 信 食 糧 (株)	055-273-4561	入 倉 斉 二	食品材料卸
シ キ シ マ 醬 油 (株)	055-273-6844	小 林 秀 男	醤油、減塩調味料、ジャネフ製品
信 濃 化 学 工 業 (株)	0262-43-1115	営 業 部 上 野 清 登	食器、トレイ
(株) テ ン ヨ 武 田	055-266-5251	深 沢 正 道	醤油、給食材料
(株) 日 新 厨 房 企 画	055-273-3881	杉 本 哲 史	厨房設備の企画・設計・施工管理、厨房機器販売、修理・保守点検管理、厨房に関する相談業務
(株) は く ば く 管 理 本 部	0556-22-8989	興 石 修	麦の総合食品メーカー、「骨太家族」
宮 坂 釀 造 (株)	055-241-8181	中 澤 等	味噌
湊 與 (株)	055-226-3742	小 野 健 一	鮮魚、煮貝
(株) マ ル ハ チ 村 松	054-622-7371	森 田 新 治	鰯の素、だしの素
山 梨 ヤ ク ル ト 販 売 (株)	055-237-8960	向 山 哲	健康科学 Yakult
三 信 化 工 株 式 会 社	03-3539-3414	野 田 伸太郎	メラミン、ポリプロ食器
(株) H + B ラ イ フ サ イ エ ン ス 東 京 支 店	03-5298-8188	吉 村 眞 一	マービー、粉飴、オリゴワンの製造販売
テ ル モ 株 式 会 社	0263-48-0701	大 庭 幸一郎	医療用食品の製造、販売
東 洋 羽 毛 首 都 圏 販 売 株 式 会 社 西 東 京 営 業 所	042-675-8811	柳 沼 喜 市	羽毛布団
東京サラヤ(株)メディカル事業本部 東京支店 ヘルスケア 1 課	03-3813-5630	高 麗 武 男	食品衛生材料、栄養食品の製造、販売
日 清 医 療 食 品 (株) 中 部 支 店	026-269-6700	崔 田 学	給食委託業務、給食材料、濃厚流動食
株式会社 岩崎 松本営業所	0263-39-0501	石 和 利 康	食生活、栄養指導用食品模型製造、販売
株 式 会 社 ク リ ニ コ	03-3793-3939	鳥谷尾 直 子	病態栄養食品の普及、販促
東 洋 シ ス テ ム サ イ エ ン ス	045-451-3191	天 野 雅 浩	給食・栄養管理及び指導ソフト「カロリーメイク」の開発販売

社名	電話	担当	業務内容
(株) オオキ	055-273-6644	芦澤 秀雄	食品、環境の衛生管理、ソフト、ハードの全般
(株) ユウシテム	055-223-3085	山口 竹夫	福祉関係ソフトウェア開発、コンピューター機器販売
株式会社明治 関東支社	042-540-7322	志村 有希子	栄養食品、乳製品製造、販売
ネスレ日本(株)ネスレヘルスサイエンスカンパニー	090-5437-5370	奥 尋一	栄養食品（アイソカルシリーズ）販売
株式会社フタバ	0256-45-7272	今井 和郎	けずり節・だし粉末・その他食材製造・販売
花王カスタマーマーケティング(株)東京リージョン	03-6746-2373	黒田 浩子	花王製品の販売
長谷川化学工業株式会社	047-482-1001	本田 光夫	まな板・ほうちょうなどの製造販売
大陽食品株式会社	055-224-5415	新津 明	業務用総合食材、老人医療用食材卸
エコラボ株式会社	03-5285-2653	松野 泰明	洗浄剤、殺菌剤の製造、販売
株式会社せんだい	055-262-1170	伊藤 英文	納豆の製造販売
カゴメ株式会社 東京支社	03-3861-7011	原野 樹里	飲料、調味料・パスタソースなどの製造・販売
伊那食品工業株式会社	0265-78-1121	向山 慎太郎	寒天及び介護食用寒天製品・家庭用食料品（デザート等）製造・販売
トオカツフーズ株式会社	045-564-5741	森田 道昌	弁当・おにぎり・サンドイッチ・惣菜・麺類などの調理済食品及び冷凍弁当・冷凍惣菜などの製造販売宅配
(株)日本食生活改善指導会 東京本部 関東事業所	042-730-8323	豊澤 範衛	無水鍋など調理器具のPR
(株)ベネフィットワン・ヘルスケア	03-6417-9981	井田 章子	特定保健指導事業・各種健康セミナー等事業
株式会社ファンデリー	03-6741-5890	梶原 哲也	栄養士による食事の宅配・栄養相談、医療食の通信販売、栄養士のポータルサイト運営など
旭化成ファーマ株式会社	026-224-7515	長野営業所 ヘルスケア担当 渡邊 史乃	・医療用医薬品の製造・販売・ヘルスケア製品・流動食の製造・販売
株式会社おぎそ	0572-59-8639	矢倉 尚	学校・保育所・病院・福祉施設の給食用食器、リサイクル強化磁器食器の製造販売。破損した強化磁器食器の回収・リサイクル等、環境に配慮した事業活動
株式会社サンプラネット 健康事業本部	03-5978-1953	第2営業所 所長 岡田 守正	食品の販売（飴、ゼリー、特定保健用食品など）
株式会社コーゲツ	055-260-7311 080-3472-9586	山梨営業所 加藤 良	冷凍食品・食材関連品の卸販売業務
生活協同組合パルシステム山梨	055-243-6327	小沢 浩二	食品・家庭用品等の販売
味の素冷凍食品株式会社	03-5798-8653	地濃 雅実	冷凍食品の研究開発・製造・販売
ホシザキ東京株式会社山梨支店	055-237-7126	宮下 正一	業務用厨房機器の販売及びアフターサービス
サンワフーズ株式会社	0550-83-1122	齊藤 猛	病院・老健施設給食、社員食堂・レストラン等
株式会社インフィニバリュー	070-6988-0025	玉川 眞奈美	メニュー、新商品開発及び販路拡大・アレルギー対応食、食材のプロモーション
株式会社セフネット 新宿支社	03-5919-2798	伊藤 喜嗣	品質保証米の販売事業
株式会社 宮源	080-8513-9276	高橋 浩幸	治療食、ゲル化剤、非常食等の製造販売
有限会社 糧とく東京営業所	03-5246-4203	伊藤 喜嗣	米（給食用）の精米・販売、厨房・医療機器の販売、業務用パン（常温・冷凍）の卸売等

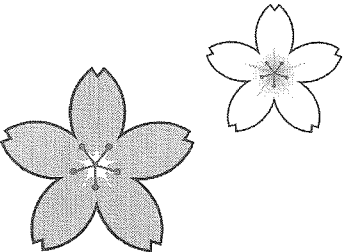
会員の皆様にお願い！

- ◎ 年会費の振込には、「自動引落とし」手続きをお取りになるようお願いします。
- 事務局等の業務が簡素化する。
・毎年4月10日に引き落とし後、一括整理できる。
・各職域事業部長さんや事務局が行う、未納者への納入依頼等の督促事務がなくなる。
 - 自動引き落とし手続きをした会員人数分、所属職域事業部の活動費が増える。
(職域事業部活動費：均等割り＋会員割250円×人数＋自動引落とし会員割250円×人数)
 - 金融機関に行く手間や納入漏れ防止になる。

所属職域事業部の活動をより充実したものとしていくためにも、ぜひ手続きをお願いいたします。なお、振込み口座等につきましては、裏面の「事務局からのご案内」をご覧ください。

- ◎ 新会員システムの運用に伴う会員情報調査票のご提出をお願いします。
- 「栄養やまなし98」（平成26年1月）でもお願いいたしましたが、会員管理システムが平成24年度より新しくなった事に伴い、改めて会員の皆様からの会員情報の提供をお願いしているところです。
- まだ、ご報告いただいていない会員は、同封の「新会員システムの運用に伴う会員情報調査票」にご記入頂き、山梨県栄養士会事務局まで、パソコンメールまたはFAXにてご提出をお願いいたします。パソコンメールにてご報告いただく場合は、「新会員システムの運用に伴う会員情報調査票」の書式データをメールにてご送付いたしますので、事務局までご連絡下さい。

- ◎ 山梨県栄養士会のメールアドレスの変更をお願いします。
- 山梨県栄養士会のメールアドレスが変更となりました。
- 新しいアドレスは、下記のとおりです。
- 「yamaei@sky.plala.or.jp」
- 従来のメールアドレスは、5月いっぱい終了いたします。





事務局からのご案内



◎平成 26 年度 正会員会員証について

平成 24 年度より会員証は、5 年更新のカード形式となっております。(平成 24 年～ 28 年まで有効) そのため、今年度より平成 28 年度まで、会員証の送付はありませんので、ご注意ください。紛失の場合は有料 (1,000 円) にて再発行いたします。

なお、会費の領収書は通帳記帳、コンビニ払込受領証等により代えさせていただいておりますのでご了承下さい。

必要な場合は、事務局までご連絡ください。

◎会員登録事項の変更は 早めにご連絡を！！

- ・住所が変わったとき・・・
- ・勤務先が変わったとき・・・
- ・結婚等で姓が変わったとき・・・
- ・県外に引越しのとき ⇒ <転出届>
- ・退会のとき ⇒ <退会届>

◆これらの変更があったときは、必ず県栄養士会へご連絡をお願いします。

☆事務局の開所時間について

栄養士会事務局は月曜日～金曜日の午前 9 時～午後 4 時です。

編集後記

新年度がスタートし、皆様におかれましては忙しい毎日を送っていることと思います。

今年度もご支援、ご協力をよろしくお願い致します。

また、管理栄養士・栄養士のスキルアップのための生涯教育研修会やその他研修会には積極的に参加していただきたいと重ねてお願いいたします。

なお、今号は 5 月 24 日 (土) の定時総会資料となります。忘れないようにお持ちになり、多数の方の参加をお待ちしております。

事務局

会 費

日本栄養士会費	6,500 円
山梨県栄養士会費	7,500 円
連盟会費	2,000 円
	(連盟口座)

◎会費の振込先

☆銀行の振込先

山梨中央銀行甲府駅前支店
(普通) 287296
(社)山梨県栄養士会

振込み手数料	(ATM)	(窓口扱)
山梨中央銀行甲府駅前支店からの場合	108 円	108 円
山梨中央銀行本店・他支店からの場合	108 円	324 円

☆ゆうちょ銀行の振込先

口座 10890-11752671
(社)山梨県栄養士会

振込み手数料

通帳から振替 (窓口扱)	144 円
通帳から振替 (ATM 扱)	無料
現金を窓口で振込み	540 円

引落とし手数料

山梨中央銀行	108 円	預金口座振替依頼 (自動会計サービス)
ゆうちょ銀行	25 円	自動払込利用申込

◎編集委員

田草川憲男、遊佐 渚、半田裕子、三浦ちせ
塚原順子、天野江津子、古屋宏美、吉原京子
三上順子

栄養やまなし No. 99 平成 26 年 5 月 2 日

発行所 公益社団法人山梨県栄養士会
〒400-0805

甲府市酒折 1 丁目 1-11
日星ビル 4 階

TEL・FAX 055-222-8593

HPアドレス

<http://www.eiyouyamanashi.jp/>

メールアドレス ※アドレスが変わりました。

yamaei@sky.plala.or.jp

印刷所 (有)オズプリンティング

◆山梨県栄養士会 HP の会員専用ページへの入り方 ユーザー名: yamaei ・パスワード: 1985fukayama